

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp**5月号**

安心して間違えられるということ

副校長 神野 崇

「教室は間違うところだ」



4月8日に教室をまわっている時に聞こえてきた言葉です。教室で安心して自分の思っていることを話し、友だちの考えに耳を傾け、自分にはない考えを知る。クラスみんなの知恵を集めればよりよい考えが導き出せる。そして、教室だけで解決できないことは、身の周りの人に協力を求めたり、つながったり。そのような教育活動がスタートしたのだなと感じました。申し遅れました。私は4月から着任しました、

副校長の 神野 崇 (かみの たかし) と申します。

私の今年度の目標は、さわの里小学校の良いところをたくさん見つけていくことです。早速、登校時の子どもたちの良い姿を発見しました。校門に入ってチャイムが鳴るまで昇降口の前に並んで待つ子どもたち。一番左側の高学年が入る昇降口は他の二つより入口が狭い造りです。急ぐことなく安全に入っていきます。4年生に「すごいね。こんなことができるなんて。」と私が言うのと、「5年生に教えてもらいました。」と返ってきたので、「5年生すごいね。」と私が言うと、5年生は「6年生に教えていただきました。」と答えてくれました。最後まで並んで待っている6年生に「さすがさわ小の最高学年だね。」と声をかけずにはいられませんでした。静かに待っているというより、1～5年生を見守っているという感じさえ受けました。頼もしい6年生です。けがをした低学年の児童の手をつないで一緒に登校してくれる優しい6年生もいます。このような伝統は6年生から在校生にきっと広がっていくことでしょう。

学校内だけではなく、地域の方々からもたくさんの愛情をいただいています。学援隊の皆様、PTA 校外委員の皆様、警察の方など多くの方が安全に登下校できるように見守ってくださっています。本当にありがとうございます。皆様の暖かい愛情を受けて、子どもたちも教職員も豊かに成長できる環境がさわ小にはあります。私は、そんなさわ小をすぐに好きになりました。そして、もっともっと良いところを発見したいと思っています。

「教室は間違うところだ」教室だけではなく、学校の内外で仲間とチャレンジしたり共感したりすることで豊かな成長や感性を育むことにつながっていくと思います。私たち大人は、時には手を出さずに見守り、時には一緒に学習や活動に参加し、つながっていけるさわ小でありたいです。学校は様々な人、もの、ことと出会う場所です。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様、学校の教育活動へのご理解ご支援の程よろしくお願ひいたします。